令和2年度 業務委託積算基準 一部改定・訂正一覧表

R3.4.23

\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	種別		-	基準書該当箇所	変更情報	
通知日	改定 訂正	種別 本編 別冊	基準書ページ	章・節・項等の名称	変更内容	対照表ページ
R3.3.22	改定	本編	11-2	第11編 森林整備 第1章 総則 1-3 設計表示単位	細別の一部改定	1
R3.3.22	改定	本編	11-21	第11編 森林整備 第4章 設計業務 治山林道必携 第4部 設計業務 第3章 設計業務標準歩掛 第2 渓間工設計	「独自基準」から「適用基準」 へ改定 ※一部独自読替あり	2~8
R3.4.23	改定	本編	2-9	第2編 地質調査業務 第2章 地質調査標準歩掛等 第5節 地すべり調査 5-3-6 携帯用触針式水位計観測	積算数量算出例の追記	9

ページ		改定前	前(令和3年3月3	31⊟ā	まで	適用)			改定	後(令和3年4月				3年3月221
P.11-2 第11編 森林整備	「業務		第1章第2節2-3設計表示単位」	による他、衤	茶林整備	独自歩掛に	ついて	「業務		第1章第2節2-3設計表示単位」	による他、森林	木整備独	(自歩掛	こついて
第1章 総則		そのとおりとする。 月31日まで適用)							のとおりとする。 月 1 日以 <mark>降適</mark> 用)					
	項目	種別	細 別	積 算 単 位		契約表単位 数		項目	種 別	細	積 算 表 単 位 数		契 約 単 位	
	治山計画 調 査	治山全体計画 調 査		(略)				治山計画 調 査	治山全体計画 調 査		(略)	'		<u> </u>
		治山事業計画書 成		(略)					治山事業計画書 成		(略)			
	治山調査	山腹調査		(略)				治山調査	山腹調査		(略)			·
	治山測量	山腹工の測量		(略)				治山測量	山腹工の測量		(略)			
		渓間工の測量		(略)					渓間工の測量		(略)			
		治山地すべり		(44)				ŀ	治山地すべり		(44)			
		防止測量		(略)					防止測量		(略)			
		治山測量共通		(略)							/ m/z \			
	V/ I . = II . = I		7D [16=D-4- /.1.16=D.=1]			11		y/	治山測量共通	70 (()=10-+	(略)	.	/rl-	
	治山設計	山腹工設計	現地調査(山腹設計)	件	1	件	1	治山設計	山腹工設計	現地調査(山腹設計)	件	1	件	1
			基本事項の決定(山腹設計)	件	1	件	1			基本事項の決定(山腹設計)	件	1	件	1
			設計計画 (山腹設計)	件	1	件	1			設計計画 (山腹設計)	件	1	件	1
			山腹工 工法比較検討	件	1	件	1			山腹工 工法比較検討	件	1	件	1
			設計図作成(山腹設計)	件	1	件	1			設計図作成(山腹設計)	件	1	件	1
			照査 (山腹設計)	件	1	件	1			照査(山腹設計)	件	1	件	1
		渓間工設計	現地調査 (渓間設計)	件	1	件	1			設計説明書等作成 (山腹設計)	件	1	件	1
			基本事項の決定(渓間設計)	件	1	件	1		渓間工設計	治山ダム (透水型・遮水型)	件	1	件	1
			治山ダム工の設計(渓間設計)	件	1	件	1			実施設計		_		
			治山ダム工構造図作成 (渓間設計)	基	1	基	1			治山ダム(透過型)実施設計	件	1	件	1
			治山ダム工照査(渓間設計)	基	1	基	1		治山設計共通	流路工実施設計 打合せ協議	箇所	1	箇 所 件	1
			流路工の設計(渓間設計)	件	1	件	1	林道計画	路線全体計画	打合で励識	1+	1	111	1
			流路工構造図作成(渓間設計)	m	1	m	1	調査			(略)			
			流路工照査(渓間設計)	m	1	m	1	间						
		治山設計共通	設計説明書等作成(治山設計)	件	1	件	1		地区全体計画		(略)			
			打合せ協議	件	1	件	1	11.556	調査					
	林道計画	路線全体計画		(略)				林道	1 車線林道測量		(略)			
	調査	調査		(41)				測量						
		地区全体計画		(略)				林道用地	用 地 測 量		(略)			
		調査		(世間)				調査						
	林 道	1 車線林道測量		(略)		·	_	保安林	保安林調査		(略)			
	測量			(伯)				調査						
	林道用地	用 地 測 量		/m/z \				林道設計	1 車線林道設計		(略)			
	調査			(略)										
	保安林	保安林調査		/w=\										
	調査			(略)										
		1 車線林道設計		(略)										
	I TO SEAR	. WILL CENTE	1	(·H)										

		【通知日】令和3年3月22日
ページ	改定前(令和3年3月31日まで適用)	改定後(令和3年4月1日以降適用)
P.11-21 第11編 森林整備 第4章 設計業務	第4章 設計業務 (全和3年3月31日まで適用)	第4章 設計業務
[1] 適用基準	[1] 適用基準	[1] 適用基準
[3] 独自基準	治山林道必携(調査・測量・設計編)	治山林道必携(調査・測量・設計編)
	1 森林整備保全事業の調査、測量、設計及び計画業務に係る積算要領	1 森林整備保全事業の調査、測量、設計及び計画業務に係る積算要領
	第4部 設計業務	第4部 設計業務
	第1章 設計業務積算基準	第1章 設計業務積算基準
	1-1 適用範囲 ~ 1-2 業務委託料	1-1 適用範囲 ~ 1-2 業務委託料
	1-5 適用に当たっての留意事項	1-5 適用に当たっての留意事項
	第3章 設計業務標準歩掛	第3章 設計業務標準歩掛
		第2 渓間工設計
		2-2 治山ダム設計B ~ 2-4 流路工
	第3 山腹工設計	第3 山腹工設計
	第4 防潮工設計	第4 防潮工設計
	第5 林道設計	第5 林道設計
	5-3 一車線林道設計	5-3 一車線林道設計
	[2] 運用基準	[2] 運用基準
	なし	なし
	[3] 独自基準	[3] 独自基準
	治山林道必携(調査・測量・設計編)	治山林道必携(調査・測量・設計編)
	1 森林整備保全事業の調査、測量、設計及び計画業務に係る積算要領	1 森林整備保全事業の調査、測量、設計及び計画業務に係る積算要領
	第4部 設計業務	第4部 設計業務
	第1章 設計業務積算基準 (略)	第1章 設計業務積算基準 (略)
	第2章 設計業務の積算の留意事項 (略)	第2章 設計業務の積算の留意事項 (略)

ページ		改定前(令和3年3月31日まで適用)	Ē	改定後	(令和	3年	4月1	1日以	降適用)	
P.11-21	第3章 設	計業務標準歩掛	第3章 設計	業務標準	 步掛						
11編 森林整備											
94章 設計業務	第1 共	通(略)	第1 共通	(略)							
[1] 適用基準	第2 渓	間工設計	第2 渓間	工設計							
~ [0] \hd=\	第 2	渓間工設計は適用しない。以下のとおりとする。	2-1 治	山ダム設	計A						
[3] 独自基準	2-1 渓間工設計業務	の内容	2 - 1	治山ダム設	と計Aは適	用しない。					
	種別	作業内容	2-2 治	山ダム設	∄R						
	現地調査	渓間工の工種、配置、構造、規格及び施工方法等の決定に必要な自然的特性、社会経済的条件の調査並びに資料収集を行う。		・1 治山タ		と刑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	マガノ 宝 協	:	老朱掛)		
	基本事項の決定	現地調査の結果及び設計条件等に基づき、工種工法等の基本事項を定め、各工種及び構造物の配置を決定する。		に読み替える					79 147		
		基本事項の決定に基づき、設計施設等の位置、高さ、形式、構造、規模及び施工方法等を決定する。エ								(1基又は1	件当たり)
	治山ダムエ設計計画	事施工上必要な仮締切、廻排水、安全施設及び運搬方法等の仮設計画も含める。なお構造物の形式、 規模等の決定に必要な安定計算は治山ダム・土留工断面表(財団法人林業土木コンサルタンツ)を標準	職種区分	単位	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師A	技師B	技師C	技術員
		とする。(比較検討3案程度)	設計計画	件			0.15	0.40	0. 59		
		治山ダム工の施工に必要な図面を作成する。なお簡易な構造物については標準図、模式図等を作成す	現地踏査	件			0.43	0.86	1. 29	0.86	
	治山ダム工構造図作成		基本事項検討	件			0.19	0. 56	0.77	0.31	0. 22
		構造図等から工種別に構造物等の数量、建設に係る資材について、その算出根拠を明確にして算出す る。	施設設計	基				0.82	1. 25	2. 12	2. 31
		**	数量計算	基					0.45	1. 15	1. 36
	照査(治山ダムエ)	の中間、成果品提出前の各段階において総合的に照査を行うとともに、設計図や数量計算、設計説明書 等に誤りがないか確認する。	照査 設計説明書作成	基件			0. 32	0. 40	0. 32 1. 28	0. 21	1. 47
			合計		0.00	0.00	1.38	3. 75	5. 95	6. 12	5. 36
	流路工設計計画	基本事項の決定に基づき、設計施設等の位置、高さ、形式、構造、規模及び施工方法等を決定する。工事施工上必要な仮締切、廻排水、安全施設及び運搬方法等の仮設計画も含める。なお構造物の形式、規模等の決定に安定計算が必要な場合は治山ダム・土留工断面表(財団法人林業土木コンサルタンツ)を標準とする。(比較検討3案程度)	(注) 1. 本堤に 副ダム等。 る。	副ダム等を設 とは、洗堀防							
		流路工の施工に必要な図面を作成する。なお簡易な構造物については標準図、模式図等を作成する。	2-2-	·2 治山ダ	だん(添品	新里(西西)	新設計 <i>(参</i>	*老歩掛)			
	流路工構造図作成	構造図等から工種別に構造物等の数量、建設に係る資材について、その算出根拠を明確にして算出する。		に読み替える							
		施工目的に合致した設計となっているか、工事に十分に役に立つか等について、設計業務着手時、業務								(1基又は)	件当たり)
	照査(流路工)	の中間、成果品提出前の各段階において総合的に照査を行うとともに、設計図や数量計算、設計説明書 等に誤りがないか確認する。	職種区分	H 477	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師A	技師B	技師C	技術員
	設計説明書等作成	設計条件、構造物の規模、形式等の決定に至る経緯、検討内容、施工上留意すべき事項等について取り	設計計画	件			0. 19	0.53	0.77		
	欧田が引自サードル	まとめる。	現地踏査	件			1.00	2. 01	3.01	2. 01	
			基本事項検討	件			0.60	1.80	2.50	1.00	0.70
			施設設計	基				1. 13	2. 52	2. 57	3. 65
			数量計算	基					0.50	1. 27	1. 50
			照查	基			0.35	0.44	0.35	0. 23	
			設計説明書作成	件	0.55		0. 29	0.71	1. 28	1. 47	1. 47
			合計		0.00	0.00	2. 43	6.62	10. 93	8. 55	7. 32
				副ダム等を設 とは、本堤に 工をいう。							

2 2 3			/ ^	· ·				_ \				<u> </u>		<u> </u>
ページ		改定前((令和	[] 3 左 	F3月	3 1 E	まて	適用)		 강	定後(令和3:	年4月1日以	以降適用)
.11-21	2-2 深間工設計参掛 (1) 現地調査				_	_			(1件当り)					
11編 森林整備			技術者			直接。	人件費							
自4章 設計業務	作業区分	規格	chart Bi	++ AZ =	+ × + 4	****	****	****	** # #					
1] 適用基準			内容別	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員					
~		全体計画調查	外票			1.50		2.00	2.00					
3] 独自基準	現地調査	資料提供の場合	内案											
	死心病量	全体計画調查	外票			2.00		2.50	2.50					
		資料無しの場合	内集											
	1 治山全体計画調査と併せて	て積算する場合は、こ	の参掛は	l H上しない。										
		①規模による参拝	の補正											
		渓流延長		500m未満	500m以上 1,000m未満	1,000m以上 1,500m未満	1,500mljl.L]						
		補正值		0.8	1,000m未満	1.800m未満	1.4							
				0.0	1.0	1.2	1.4							
		②地況による歩技	の補正	<u> </u>		Ι	1							
		区分		믔	中	難								
		補正值		0.8	1.0	1.2								
		地況による区分は 部測量業務第2章 測量参掛の補正 計程 P223)	[測量業務	標準多掛 第	97治山事業測	量 7-2渓間	工測量 7-	2-4 渓間工						
		③山腹エと併せて	現地調査	を行う場合([隣接地の場合	の参掛の補	Œ							
		区分		渓間工のみ	山腹工 現地調査	と併せて Eする場合								
		補正值		1.0		.8								
		※山腹エと併せて	現地調査	L を実施する場	合の深間工に	係る現地調査	」 E参掛の補正(Ė						
	(2) 基本事項の決定								(1件当り)					
			技術者			直接。	人件費							
	作業区分	規格	内容別	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員					
			外票											
		全体計画調査 資料提供の場合			1.50	2.00								
	基本事項の決定				1.50	2.00								
		全体計画調査 資料無Lの場合	外票											
			内案		2.00	2.00				j				
	1 治山全体計画調査と併せて	て積算する場合は、こ	の参掛は	#上しない。										

ページ		2,	文定前(令和	13年	[3月	31	日まで	で適用)	改定後(令和3年4月1日以降適用)
P.11-21			山腹工と併せ	て現地部	査を行う場	合(隣接地)	の場合)の歩	掛の補正			
第11編 森林整備			E	分	渓間	エのみ	山腹工と併現地調査する	せてる場合			
第4章 設計業務 [1] 適用基準			補	E値	1	1.0	0.8				
~			※山腹工と併	せて現場)渓間工に係る	S基本事項(D決定歩掛の	補正値	
[3] 独自基準	(3) 治山ダア 治山ダ	ムエの設計 ムエ設計計画								(1件当り)	
				技術者			直接。	人件費			
	f	非素区分	規格	内容別	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	
			11.44.10.41.4-1	外票							
	20.11.00	ムエ設計計画	比較検討無し	内案		1.50	1.50	2.00	1.00		
	, хшж	A Lexet et El	比較検討有り	外票							
			(3楽程度)	内集		1.50	1.50	2.50	2.00		
	1 安定計算	は治山ダム・土留エ	断面表(財団法人	林業土才	ミコンサルタン	ツ)を標準と	する。				
	イ 治山ダ	ム工構造図作成			<u> </u>					(1基当9)	
	f	# 黑区分	規格	技術者		Ī	Т	人件費			
				内容别	技師長	主任技師	技師△	技師B	技師C	技術員	
		横造図作成		外票 内票			0.50		1.00	1.00	
	治山ダムエ 横造図作成			外票			0.30		1.00	1.00	
		数量計算		内案			0.50		0.50	0.50	
	1 この参掛	ま、15m未満の治し	•	1							
	2 構造図の	舘尺は1/100を標	[準とする。これによ	り難い場	合は明瞭に図]示できる範囲	囲内で適宜決力	きする。			
	3 この参掛(こは測量原図(平面	図を除く)への構造	物の記入	が含まれてい	\ক.					
	4 治山ダム	構造図作成においる	ては、治山ダム・土を	留工断面:	表(財団法人	林業土木コ	ンサルタンツ) マ	を標準とする。			
			前堤等を含む場合	の参掛補	Œ						
			区分		本堤のみ	本堤+前場 に接続する 等を含む。)	(側壁、水叩き 20m未満の護	、その他堤保 岸工、水路コ	-		
			補正值		1.0	₩235:	1.5		1		
									_		
İ											
											•

												<u> </u>	通知日』下
ページ	_	收定前(令和	3年	[3月	31E	3まて	で適用)	改	定後(令和3)	年4月1日」	以降適用
P.11-21	ウ 治山ダム工照査			1					(1基当り)				
· • · · · - · · 第11編 森林整備			技術者			直接。	人件賽						
第4章 設計業務	作業区分	規格	内容別	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員				
			\vdash										
[1] 適用基準	治山ダム工照査		外票										
~			内案		0.50		0.50						
[3] 独自基準			1				l						
		前堤等を含む場合	の参掛補	正									
				Ι	本堤+前堤(側壁、水叩き	、その他堤体						
		区分		本堤のみ	に接続する2 等を含む。)	:0m未満の護	岸工、水路工						
		補正值		1.0		1.5							
	(A) 24 50 m m 40 41							-					
	(4) 流路工の設計 ア 流路工設計計画								(1件当り)				
			技術者			直接人	件費						
	作業区分	規格	内容別	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員				
			外票										
		比較検討無し	内票		0.50	2.00	2.00	0.50					
	流路工設計計画		и •										
		比較検討有り (3素程度)	外票										
			内集		0.50	2.00	2.50	1.00					
	1 流路工設計の参掛は、流路	工を構成する床固工	、帯工、調	博工を1セッ	トとして標準化	したものである	ತ こと。						
	2 安定計算が必要な場合は、	治山ダム・土留工断	面表(財団	法人 林葉白	上木コンサルタ	ンツ)を標準と	する。						

																	,,,,,,	,5 0 0 1	0,3000
ページ		改	定前(令和	03年	[3月	31E	3まて	で適用)		改定征	乡 (令和	3年4	↓月1	日以降		<u> </u>	
P.11-21	イ 流路工構造 🛭	図作成								(100m当り)									
「・・・・ ~ ・ 第11編 森林整備	作業区	7.4	規格	技術者			直接力	· 件賽											
第4章 設計業務	TFACE	•//		内容别	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員									
[1] 適用基準		黄造図作成		外票															
~ 「2〕 狐白甘淮	流路工構造	RE LATERS		内集				1.00	2.00	2.00									
[3] 独自基準	図作成	定計算及び		外票															
		数量計算		内集				1.00	2.00										
	1 箱尺は1/10	0を標準とする。	これにより難い場合	計は、明朝	計に図示できる	5 範囲内で通り	直決定する。												
	2 この参掛には源	制量原図 (平面)	図を除ぐへの構造	物の記入	が含まれてい	· 5													
	3 流路工構造図	作成においては	た、治山ダム・土留コ	医断面表(財団法人 村	素土ホコンサ	・ルタンツ)を標	準とする。											
		ı	計画勾配による補	正 (勾配	は計画勾配! T			ı											
			勾配		計画勾配 1/20未満	計画句配 1/20以上~ 1/10以下	計画句配 1/10を超え るもの												
			補正值		0.9	1.0	1.5												
	ウ 流路工照査									(100m当り)									
	作業区	7. 4.	規格	技術者			直接力	件費											
	17.70	-7		内容别	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員									
	流路工	限查		外票															
				内集		1.00				1.00									
		ſ	計画勾配による補	正 (勾配	1	1		l											
			勾配		計画勾配 1/20未満	計画句配 1/20以上~ 1/10以下	計画 写成 1 ∕ 10 を超え るもの												
			補正值		0.9	1.0	1.5												

ページ		改定	前(令	和3年3月3	1日	まで	適月	月)				改	定後(含	3和3年4月1	日以	降適用)		
P.11-21	2-3 設	計書の例(渓間	工設計)									2-5 設計	書の例(渓	引工設計)					
	設計書の例	(渓間工設計)									設計書の係	河(渓間工設計)						
第11編 森林整備	費目	工種	種別	細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	費目	工種	種別	細別	規格	単位 数量	単価	全額 は	瘤更
第4章 設計業務	設計費										設計費	工力	1987/3	War20-3	УУСТИ	平位	JIIII	五形 1	川久
[1] 適用基準		直接費										直接費							-
[1] 旭州圣华			直接人件費	20 (1/2014 (7/200 20/21))		61							直接人件費						
\sim				現地調査(渓間設計) 基本事項の決定(渓間設計)		件								治山ダム (透水型・遮水型)		件			
[3] 独自基準				ダム工設計計画(渓間設計)		" "								実施設計		14			
				ダム工構造図作成(渓間設		,,								治山ダム (透過型) 実施設計		n l			
				計)										流路工実施設計		箇所			
				流路工設計計画(渓間設計)		件								打合せ協議		件			
				流路工構造図作成(渓間設		,,							直接経費	11 C 000 1956		- 11			
				計)										旅費交通費		式			
				照査(渓間設計)		"								電子成果品作成費		II .			
				設計説明書等作成 打合せ協議		"						直接費							
			直接経費	打合で励哉		- "						(積上げ分)計							
			巨孩柱貝	旅費交通費		式							その他原価						
				電子成果品作成費		"						業務原価計							
		直接費											一般管理費						
		(積上げ分)計									業務価格計	T							
			その他原価									消費税相当額	•						
		業務原価計									設計費計								
			一般管理費																
	業務価格計																		
		消費税相当額																	
	設計費計																		
	~ ~	3 山腹工部	设計 (略	3)							4	第3 山腹工	設計 (略	.)					
	*	50 四版工品	X р I \	1/								50 四版工		/					
	第	55 林道設計	十 (略)								9	第5 林道設	計 (略)						
	第	6 一般構造	き物設計	(略)							9	第6 一般構	造物設計	(略)					
											1								

【通知日】令和3年4月23日

改定節(令和3年4月30日まで適用) 改定後(令和3年5月1日以降適用) 公定後(令和3年5月1日以降適用) 公定後(令和3年5月1日以降適用) 公理
5 - 3 - 6 第四別時は小水に前側
5 - 3 - 6 第四別時は小水に前側
1
(7) ※ 参)
括 受 選 来 技 所
技術 一方 一方 一方 一方 一方 一方 一方 一
技術中用財動工小不比151数2 選
(機械が具体) (機械が具体) (機械が具体) (根域が具体) (根域) (相域)
水 位 計 携帯型 日 1.0
計 (注) 1. 労務費は現地機器点候、データ整理を含む。 2. 労務費は現地機器高機、データ整理を含む。 2. 労務費、材料費及び機械器具料料は、観測ヵ所数に応じて次の輸止係数を乗じて積管のこと。
(注) 1. 労務費は現地機器点検、データ整理を含む。 2. 労務費、材料費及び機械器具材料は、製刷の所数に応じて次の補正係数を乗じて積算のこと。 なお、20 ヵ 方を超 2 5 48合、20 ヵ
2. 労務費、材料費及び機械器具槓料は、観測ヵ所数に応じて次の補正係数を乗じて積算のこと。 在お、20 カ所を超える場合、20 カ所建位(日単位)で観別に積算し合算のこと。 複測カ所数 1~8 カ所 9~14 カ所 15~20 カ所 (例:50 カ所の場合) 横正係数 0.50 0.75 1.00 (2.75) 横正係数 0.50 0.75 1.00 (2.75) 横正係数 1.00 0.50 0.75 1.00 (2.75) 横正係数 0.50 0.75 1.00 (2.75) 横正係数 0.50 0.75 1.00 (2.75) 横正条数 0.50 0.75 1.00 (2.75)
なお、20ヵ所を超える場合、20ヵ所単位(1日単位)で個別に積算し合算のこと。
観測カ所数 1~8カ所 9~14カ所 15~20カ所 (例:50カ所の場合) 観測カ所数 1~8カ所 9~14カ所 15~20カ所 (例:50カ所の場合) 横正係数 0.50 0.75 1.00 (2.75) 横正条数 0.50 0.75 1.00 横正条数 0.50 0.75 1.00 0.75 1.00 横正条数 0.50 0.75 1.00 0.75 1.00 0.75 1.00 0.75 1.00 0.75 1.00 0.75 1.00 0.75 1.00 0.75 1.00 0.75 1.00
補正係数
(積算数量 計算例) 観測カ所数 4カ所 観測カ所数 6ヶ月 1ヶ月当り観測回数 15回(2日に1回観測) 積算数量 6ヶ月×15回=90回 ※ 積算数量に観測カ所数は乗しないこと。 5-3-7 携帯用触針式水位計資料整理 第5表 携帯用触針式水位計資料整理1孔・1回・月当り 名 称 規 格 単 位 数 量 単 価 全 額 摘 要 (労 務 費) 地 質 調 査 技 師 人 0.1 地 質 調 査 員
報測カ所数 4ヵ所 観測月数 6ヶ月 1ヶ月当り観測回数 15回(2日に1回観測) 積算数量 6ヶ月×15回=90回 ※ 積算数量に観測カ所数は乗じないこと。 5-3-7 携帯用触針式水位計資料整理 第5表 携帯用触針式水位計資料整理1孔・1回・月当り 名 称 規 格 単 位 数 量 単 価 金 額 摘 要 (労 務 費) 地 質 調 査 貝
第5表 携帯用触針式水位計資料整理1孔・1回・月当り 名 称 規 格 単 位 数 量 単 価 金 額 摘 要 (労務費) 地質調査技師 人 0.1 地質調査員 " 0.5 (材料費) 「材料費」 第5表 携帯用触針式水位計資料整理1孔・1回・月当り 名 称 規 格 単 位 数 量 単 価 金 額 摘 第 (労務費) 地質調査技師 人 0.1 地質調査技師 人 0.5 (材料費) (材料費)
名称 規格 単位 数量 単価 金額 摘要 (労務費) 地質調査技師 人 0.1 地質調査員 " 0.5 (材料費) (材料費)
(労務費) 地質調查技師 人 0.1 地質調查員 " 0.5 (材料費) (分務費) 地質調查技師 人 0.1 地質調查員 " 0.5 (材料費)
地質調査技師 人 0.1 地質調査員 " 0.5 (材料費) 地質調査員 (材料費)
地質調査員 " 0.5 (材料費) (材料費)
(材料費) (材料費)
計
(注) 資料整理は水位変動図作成及び考察とする。 (注) 資料整理は水位変動図作成及び考察とする。
(在) 資料整理は小恒変動凶肝成及い考察とする。